

繊維ニュース

2017年
2月7日(火)

発行所 ダイセン株式会社
大阪本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-9 輸出繊維会館8階
電話(06)6201-5012 Fax:(06)6226-0106
E-mail: webmaster@sen-i-news.co.jp
東京本社 〒101-0036 東京都千代田区神田北乗物町11乗物町中央ビル4階
電話(03)5289-7003 Fax:(03)5289-7233
中部・北陸支社・中国・四国支社・上海支局・蘇州商務諮詢(上海)有限公司

http://www.sen-i-news.co.jp 繊維ニュース 検索

購読のお申し込み 06-6201-5012(代) hanbai@sen-i-news.co.jp

きょうの紙面

- 帝人・新中計 収益性と成長性最重視 2
帝人は、2017年度を初年度とする3カ年の新中期経営計画を策定した。従来、製品や高機能繊維・複合材料などに分かれていた組織体制を2事業領域へと再編し、各事業で成長戦略と発展戦略を実行する。6日に東京都内で会見した鈴木純社長は「収益性と成長性が最重要指標になる」と説明する。
- ルック[キース]17夏 通勤スタイル拡充 3
ルックは婦人服ブランド「キース」の17夏企画で、ニーズが高まる通勤スタイルを拡充するとともに、カジュアルラインではブラウスやドレスを重点アイテムに位置づけ、一層の拡販を図る。
- 明石SUC・小学生服 機能重視の提案奏功 4
明石スクールユニフォームカンパニー(明石SUC)は小学生服向け提案で機能加工品の提案を重視する。それが奏功して、児童数が減少する中でも健闘している。
- 旭化成・機能衣料営業部 インナーなどの用途深耕 6
旭化成のベンベルグ事業部・機能衣料営業部は、①インナー分野の深耕②カジュアル系ウエア向けへの展開③重点顧客との取り組み強化——などに注力し、年率10%以上の販売量増加を目指す。
- 五泉ニット工組 ブランドマーク策定 7
五泉ニット工業協同組合は、五泉ニットブランドマークを新たに策定した。新潟県五泉産地で生産したニットの象徴とし、近く組織する認証委員会で認証を受けた製品に使用を許可する。
- 企画 「街角から 東京・銀座」 5

日本製テキスタイルの輸出振興の場の一つ、「ザ・ジャパン・オープンバトリー」(JOB) at「ミラノ・ウニカ」(MU) 2018春夏展が3日、閉幕した。JOB設置から6回目を数えた今回は、「スワッチ請求依頼はいつもの半分ほど」「古橋織布」など多くのブリスで来場者数が伸び悩んだものの「締めてみればいつも通りの来客だった」「東レ合繊クラスタ」など、来場者の面ではこれまで以上にブリス間の明暗が分かれた。商談の点ではその場でほぼ成約を決めたブリスも幾つか見られ、継続出展による着実な「前進」を印象付けた。

(ミラノ)吉田武史、3面に関連記事

「ミラノ・ウニカ」の日本勢

JOBの主権者である 位置にも変化が見られ日本ファッション・ウィル。1~4回目は物見遊つたとみられる。この傾向を推進機構(JFW)山、物珍しさを日本製ブリスの「リビの川島朝アキスタイル」キスタイルを見れば「JOBターはしっかりと来て業務事務局は3日間を振を訪れるバイヤーが多かされた」という声と、やり返って、「まだ詳細を総つた。しかし、バイヤーイヤーごとのJOB滞留

もの珍しさから いざ本番へ

イヤの減を得た。山梨県ブリスで少も全体に 影響を及ぼした。日本勢の中には、「欧州展で得たステータスと実績で、最終的に狙うのは中国(青文)テキスタイル、安部吉など」と言っている。4回目を展覧したリリス・インターナショナル(旧・西村レーズ)はこれまでの出展に比べて現在5件の出展待ちを抱えており、今回も良い客は来てくれたと、一定の手心えを示した。「4回程度で大きな成果が得られるとは思っていない」と同社は話す。物珍しさによる盛況ぶりから、本題のビジネスへの移行期を迎えたのが、今回のMUでのJOBだった。

継続提案で着実に前進

時間が短く痛かった。同国の春節旧正月、休暇とMU会期が重なったことが影響したものとみられる。

ほぼ成約につながるような着分見本依頼を受けたいのは、2回目の出展だった和歌山の吉田染工。テキスタイルを採りに、島精機製作所のコンピュータバイヤー「SRV」が定着して作ったオリジナル生地2点がメソンの目に留まり、アレンジを加えた具

体的内容の着分見本依頼

中国バ

終始にぎわいを見せた和歌山県ブリス



終始にぎわいを見せた和歌山県ブリス

ごえんぼう

立春も過ぎ、春遠からじの気配。春は賞上げの季節である。新年の産地互礼会ではそれ以上に「人手不足」の話題が占めた。北陸では「募集しても面接にも来てくれない」。辛い仕事はあるが、生産量が上がらないという。総務省によれば2016年12月の全国有効求人倍率は1.43倍で、1991年7月以来、25年5カ月ぶりの高水準に達した。福井県は東京に次いで第2位の1.91倍、石川県も1.68倍でトップ10に入る。織・編み物では、リードタイムが長過ぎて商売にならない」と商社は文句を言う。しかし実際の生産現場は人のやりくりにてんてこ舞いという図式である▼人手不足でも賞金の上昇はわずか。16年の実質賞金は5年ぶりに0.7%増えたが「春闘」労組「はもはや死語になりつつある。8人の世界の富豪が下位36億人の富と同等という調査報道があった。啄木じやないが巻でじっと手を見る人々の姿が浮かぶ。